

## 款 6 農林水産業費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,979,918,000円	1,952,061,138円	98.6%	0円	27,856,862円

### 項 1 農業費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
757,663,000円	737,246,919円	97.3%	0円	20,416,081円

### 目 1 農業委員会費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
19,377,000円	18,530,184円	95.6%	0円	846,816円

目的	農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定を進める				
指標	農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定延べ面積	目標	500 ha	実績	516 ha (18年度 497 ha)
説明	利用権設定延べ面積は、認定農業者への農地集積を進めた結果、516ha(対前年19ha増)となり、目標を達成することができました。今後も、農業の担い手への農地利用権設定を進め、農地の保全・有効活用を図ります。				

〔農用地利用集積特別対策事業費〕 1,037,579円 (その他特財 20,000円)  
 〔農地調整事務処理事業費〕 26,000円 (県支出金 26,000円)  
 農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定など農地の利用調整とあわせんを実施しました。

### その他経費

〔委員報酬〕 12,708,400円 (県支出金 3,788,000円)  
 農業委員会委員  
 〔農業経営管理能力向上支援事業費〕 22,389円  
 〔農業者年金関係事業費〕 636,000円 (その他特財 598,600円)  
 「農業委員会だより」や農協広報誌に記事を掲載し、農業者年金制度への加入促進に努めました。  
 〔負担金〕三重県農業会議 956,000円

### 目 2 農業総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
305,397,000円	299,486,551円	98.1%	0円	5,910,449円

〔一般職給〕 33人 286,018,996円 (県支出金 1,740,000円)  
 (その他特財 58,458,233円)  
 〔嘱託職給〕 1人 3,464,021円

目的	水田経営所得安定対策の推進				
指標	対策加入者数	目標	50経営体	実績	48経営体 (18年度 48経営体)
説明	需要に見合った売れる米の生産及び生産調整実施のため、各地区の農業推進協議会や集落において説明会を開催し、積極的な情報提供を行い、生産調整目標を達成しました。また、生産調整に対応した麦、大豆生産においては、19年度から実施された水田経営所得安定対策に基づく交付金制度に加入した認定農業者や集落営農組織の担い手にその農作業が集約され、従来からの生産面積を確保するとともに、効率的な生産体制が確立されつつあります。				

〔生産調整推進対策事業費〕 6,140,684円 (県支出金 2,000,000円)

〔地区農業推進協議会交付金〕	22地区協議会	2,700,000円
〔負担金〕		19,000円
	・三重農林水産統計協会	9,000円
	・三重県森林協会	10,000円

### 目3 農業振興費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
406,247,000円	393,774,598円	96.9%	0円	12,472,402円

目的	農業生産を中核農家が担うようになる				
指標	認定農業者数	目標	220経営体	実績	218経営体 (18年度 215経営体)
説明	<p>認定農業者については、更新認定を含めて23経営体の認定を行いました。その内新規に認定農業者となったものは7経営体あり、その中には2つの法人が含まれています。法人経営体は合計12となり、徐々に経営の法人化が進んでいます。更新をしなかったものが4経営体あったことから、認定農業者数は差引3経営体の増となりました。</p> <p>一方、19年度から実施しているアグリクリエイター創生事業では、農家が行う直販施設の整備に対して支援を行うとともに、新規就農者の初期投資補助を行い、新たな農業の担い手の確保に努めました。加えて、借入れ資金返済時の利子補給を通じて制度資金の活用を促し、認定農業者の施設改善を図りました。</p>				

- 〔四日市アグリクリエイター創生事業費〕 4,725,405円
  - ・農のプロフェッショナルづくり事業費 791,000円
  - ・新規就農技術支援事業 399,294円
  - ・新しい農の担い手づくり事業費 2,200,140円
  - ・地産地消ふるさとづくり事業費 1,334,971円 (その他特財 285,000円)
- 〔農業経営近代化資金利子補給金〕 7,521,236円  
農協等 金融機関を通じ、前期175件、後期159件の資金融通に対して利子補給を実施しました。
- 〔農業経営基盤強化資金利子補給金〕 945,130円 (県支出金 461,575円)  
三重県信用農業協同組合連合会を通じ、29件の資金融通に対して利子補給を実施しました。
- 〔農業後継者対策事業費〕 130,000円  
農業青少年クラブへの活動費助成を行いました。

目的	農産物の安定的・効率的な生産を進める				
指標	麦・大豆生産量	目標	1,270 t	実績	1,240 t (18年度1,298 t)
	茶(荒茶)生産量	目標	2,600 t	実績	2,300 t (18年度2,590 t)
	肉牛飼養頭数	目標	2,500頭	実績	2,450頭 (18年度2,570頭)
説明	<p>米の生産調整の確実な実施と水田での麦・大豆の本格生産、農業経営の安定のため、集落ぐるみで取り組む集団転作を支援するとともに、19年度から実施された水田経営所得安定対策に対応し、認定農業者、集落営農組織への麦、大豆の生産を集約し、作付面積を確保することができました。</p> <p>また、茶価が低迷するなかで本市特産の茶の知名度及び茶生産者の意欲向上のため、各種茶品評会への出品対策への支援を、県農業改良普及センターや茶農協と連携して実施し、上位入賞を果たすことができました。</p> <p>農作物の安定生産を阻害する有害鳥獣の被害防除のため、生産者組織等が実施する電気柵等の防除施設の資材購入や猟友会が実施する駆除事業に対して支援を行い被害防止に努めました。</p>				

- 〔集団転作推進事業費〕 8,483,500円  
集落ぐるみで集団転作に取り組む、22営農組織に対して助成しました。(実施面積331ha)
- 〔農産物の生産及び流通対策事業〕 418,710円  
近鉄四日市駅西展示ほ場の管理を若手茶生産農家で組織する輝緑会へ委託実施しました。
- 〔茶業振興対策事業費補助金〕 260,000円  
四日市茶業連合会が実施する、伊勢茶PR事業等へ助成しました。
- 〔伊勢茶出品対策事業費補助金〕 600,000円  
四日市茶業連合会が実施する、全国、関西茶品評会への出品対策事業費を助成しました。

〔ふるさと産品まつり開催費補助金〕	3,050,000円		
11月11日(土)・12日(日)霞ヶ浦緑地にて開催	来場者数	45,000人	
〔農産物価格安定対策事業資金貸付金〕	10,790,000円	(その他特財	10,790,000円)
〔施設園芸作物振興対策事業費補助金〕	100,000円		
〔楠町機械銀行受託者部会補助金〕	290,000円		
〔楠町軟弱野菜生産者協議会補助金〕	80,000円		
〔楠町南川営農組合補助金〕	90,000円		
〔有害鳥獣対策事業費〕	2,073,400円		
・有害鳥獣異常発生対策事業費	1,683,400円		
各地区で実施する電気柵等の防除施設材料購入に対して助成しました。(3件)			
・有害鳥獣駆除事業費補助金	390,000円		
三泗支部猟友会が実施する駆除事業に対して助成しました。(駆除実績 91頭羽)			

目的	農地の保全・有効活用を図る				
指標	利用権設定延べ面積	目標	500 ha	実績	516 ha (18年度 497 ha)
説明	農地の利用権設定延べ面積は、516ha(対前年19ha増)となり、年々、農業の担い手への農地集積が進んでいます。また、遊休農地の優良農地への復元対策により、約1.9haの農地が復元され、平成16年度からの実績を合わせて計6haが優良農地として確保され、一応の成果が出ています。今後も、耕作放棄地から優良農地への復元及び担い手への農地集積を進めることにより、農地の保全及び有効活用を図っていきます。				

〔四日市アグリクリエイター創生事業費〕	2,130,000円		
・農地の守り手づくり事業費	2,130,000円		
事業を活用し、18,749㎡の遊休農地が優良農地として復元されました。			
〔四日市農業振興地域整備計画策定事業費〕	3,150,000円		
〔市民菜園設置事業費補助金〕	281,000円	(その他特財	281,000円)
市民が開設する市民菜園の整備に対して支援しました。(1件)			

#### その他経費

〔市民菜園管理運営費〕	1,510,137円	(その他特財	1,510,137円)
市が開設する市民菜園15園(570区画)の運営を、各園入園者で組織する協議会へ委託実施しました。			
〔北勢公設地方卸売市場組合施設整備受託事業〕	201,480,000円	(その他特財	201,480,000円)
・整備受託事業費	199,978,000円		
・職員手当等	961,000円		
・その他事務費	541,000円		
北勢公設地方卸売市場組合の施設整備事業を受託し実施しました。			
〔負担金〕	145,646,000円		
・北勢公設地方卸売市場組合	86,843,000円		
・三泗鈴亀農業共済事務組合	58,738,000円		
・三泗農業振興協議会負担金	65,000円		

#### 目4 農業研究施設費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
26,642,000円	25,455,586円	95.5%		1,186,414円

目的	新規農業者育成研修の実施				
指標	新規農業者育成研修の実施人数	目標	19名	実績	8名 (18年度 12名)
説明	新規就農希望者の受け入れは前年度に比べ4名減と下回りましたが、研修終了後に就農し、販売を行う者ができました。研修事業を継続的に実施することで、新規就農者が育っており、今後も積極的に事業を進め、農業の新たな担い手の育成、確保に取り組みます。				

目的	市民への園芸情報の提供				
指標	アクセス及び園芸相談 件数、参加人数	目標	180,750件	実績	176,784件 (18年度 193,440件)
説明	ホームページや園芸教室などを通じて園芸情報の提供に努めてまいりましたが、前年度に比べて実績は下回りました。しかしながら市民の園芸に対する関心は強く、園芸教室の内容を検討し、HPへの園芸情報の充実を図るなど引き続き情報等を提供して参ります。				

提供件数の内訳

区分	インターネットHP	市民園芸教室	園芸相談	菜園利用数	合計
平成19年度 (18年度)	アクセス175,623件 (192,227件)	受講者362人 (416人)	258件 (253件)	541件 (544件)	176,784件 (193,440件)

目的	種苗の育成と農家への提供				
指標	提供種苗数	目標	95,000株	実績	100,617株 (18年度 94,503株)
説明	バイオテクノロジー等により、観葉植物の組織培養苗を農家に供給するなかで、オキナワウラボシ、シシバタニワタリ、ギボウシの3品種が新たに増殖体制に入り、目標数を上回りました。また、継続してアジサイの胚珠培養をはじめ、有望品種の育成に取り組みました。				

〔バイオテクノロジー栽培技術導入事業費〕	2,099,777円	(その他特財 2,099,777円)
〔新規作物開発栽培試験事業費〕	64,639円	(その他特財 64,639円)

目的	農畜産業を知り、ふれあう場の提供				
指標	施設来場者数	目標	52,600人	実績	43,897人 (18年度 43,152人)
説明	農家の情報交換・収集の場として、また市民が園芸や畜産と直にふれあうことにより農畜産業への理解を深めるため、引き続き施設を開放していきます。				

〔農業センター施設管理運営費〕	13,532,395円	(その他特財 2,683,099円)
〔茶業振興センター管理運営費〕	4,562,000円	
〔ふれあい牧場管理運営費〕	5,164,000円	(その他特財 26,847円)

**その他経費**

〔全国市立農場協議会負担金〕	20,000円
〔日本育種学会等負担金〕	10,000円

**項2 畜産業費**

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
356,213,000円	355,766,467円	99.9%	0円	446,533円

**目1 畜産総務費**

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
16,987,000円	16,601,039円	97.7%	0円	385,961円

〔一般職給〕	2人	16,601,039円
--------	----	-------------

**目2 畜産振興費**

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
3,770,000円	3,709,428円	98.4%	0円	60,572円

目的	農産物の安定的・効率的な生産を進める				
指標	麦・大豆生産量 茶（荒茶）生産量 肉牛飼養頭数	目標	1,270 t 2,600 t 2,500頭	実績	1,240 t（18年度1,298 t） 2,300 t（18年度2,590 t） 2,450頭（18年度2,570頭）
説明	畜産物の安定生産のためには、畜産農家の経営安定を図ることが重要であり、素畜の導入資金の貸付けを行うとともに、関係機関と連携し各種情報の提供や飼養技術の向上を図りました。 飼養環境の変化や高齢化により農家数の減少が続いており、また飼料価格の高騰、畜産物の価格の低迷と畜産経営を取り巻く環境は一段と厳しくなっており目標達成は困難な状況にありますが、畜産環境改善のための支援を引き続き行っていきます。				

- 〔畜産振興事業費〕 3,230,000円
  - ・銘柄豚普及活性化事業費補助金 1,460,000円  
「三重クリーンポーク」、「みえ豚」の銘柄豚の普及・消費拡大事業へ助成しました。
  - ・乳牛育成事業費補助金 1,770,000円  
四日市酪農業協同組合がふれあい牧場で実施する、乳牛の育成事業へ助成しました。
- 〔環境保全対策事業〕 450,000円（その他特財 450,000円）
  - ・畜産防疫環境保全対策事業費 450,000円

### 目3 食肉センター食肉市場費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
335,456,000円	335,456,000円	100.0%	0円	0円

〔食肉センター食肉市場特別会計繰出金〕 335,456,000円

### 項3 農地費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
728,933,000円	723,869,893円	99.3%	0円	5,063,107円

#### 目1 農地総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
196,071,000円	195,763,293円	99.8%	0円	307,707円

- 〔一般職給〕 6人 49,780,371円
- 〔嘱託職給〕 1人 3,778,411円
- 〔農業集落排水事業特別会計繰出金〕 141,957,000円

#### 目2 土地改良費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
518,964,000円	515,646,354円	99.4%	0円	3,317,646円

目的	農業生産基盤の整備を推進する				
指標	基盤整備済面積	目標	1,550.6 ha	実績	1,549.6 ha (18年度 1,546.4ha)
説明	経営規模を拡大し生産性の向上を図り、効率的な土地利用を推進し農農業経営を担うものを確保するため、市場地区において18年度より基盤整備事業を開始し、不整形な田畑の整備を行うとともに道路・排水やポンプ場の整備を、目標には達しませんでした。実施しました。 また、既に整備済である田においては、作物の生産性を高めるため、暗渠排水の整備を行いました。				

〔市場地区ほ場整備事業費〕	46,797,700円	(その他特財 46,697,700円)
市場地区の基盤整備事業を実施し、田畑の整地を行うとともに道路や水路の整備を行いました。		
〔県単土地改良事業費〕	3,897,600円	(県支出金 1,167,600円)
ほ場整備を実施し集落営農への取り組みの顕著な地域において、暗渠排水等の整備を行いました。		
〔土地改良施設維持管理適正化事業費〕	5,000,000円	(その他特財 4,500,000円)
楠町の排水機場の修繕を行いました。		
〔市単土地改良事業費〕	28,455,000円	(その他特財 2,845,500円)
農道・ポンプ施設等の修繕を36ヶ所で行いました。		
〔農村公園維持管理事業費〕	39,900円	
農村公園の遊具の修繕を1ヶ所で行いました。		
〔農道等維持修繕費〕	2,160,883円	
地元で施工する修繕等の材料を8ヶ所に支給しました。		
〔私道農道整備補助金〕	1,000,000円	
〔土地改良事業元利補給金〕	119,959,711円	
〔市場地区ほ場整備事業費補助金〕	148,127円	
〔三重用水関連事業〕	282,088,722円	
・三重用水事業償還金	234,922,722円	(その他特財 22,998,310円)
・三重用水土地改良区負担金	45,954,000円	
・三重用水管理体制整備促進事業費	1,212,000円	(県支出金 906,000円)
〔事業費負担金〕	21,372,870円	
・土地改良施設維持管理適正化事業	715,000円	(その他特財 192,500円)
・土地改良施設維持管理適正化事業(楠)	1,170,000円	
・県営ふるさと農道整備事業	14,200,000円	
・県営鈴鹿川沿岸かんがい排水事業	1,192,460円	
・県営鈴鹿川沿岸経営体育成基盤整備事業	314,000円	
・農地・水・環境保全向上対策事業	3,781,410円	(県支出金 246,000円)
		(その他特財 3,535,410円)
〔団体負担金〕	905,000円	
・三重県土地改良事業団体連合会	855,000円	
・三重県農道管理協議会	45,000円	
・三重県農地海岸協議会	5,000円	
〔公共基準点事務費〕	686,700円	(その他特財 11,600円)
〔その他事務費〕	2,185,550円	(県支出金 2,400円)
		(その他特財 2,183,150円)

### 目3 農地防災費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
13,898,000円	12,460,246円	89.7%	0円	1,437,754円

〔井堰・樋門管理委託費〕	387,200円
〔南・北排水機場維持管理事業費〕	5,885,875円
〔南・北排水機場運転管理委託事業費〕	4,350,171円
〔県営農業用河川工作物応急対策事業費負担金〕	1,837,000円

### 項4 水産業費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
137,109,000円	135,177,859円	98.6%	0円	1,931,141円

#### 目1 水産業総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
8,735,000円	8,733,050円	100.0%	0円	1,950円

〔一般職給〕	1人	8,733,050円	(その他特財 1,577,301円)
--------	----	------------	--------------------

## 目2 水産業振興費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
5,194,000円	3,710,803円	71.4%	0円	1,483,197円

目的	魚介類が豊かな海づくりを推進する				
指標	生産量（海面漁業、海面養殖業）	目標	8,000 t	実績	9,895 t (18年度 5,518 t)
	生産額		600百万円		558百万円 (18年度 456百万円)
説明	有用微生物群（EM）を活用した漁場環境浄化の実証試験を引き続き実施するとともに、ヨシエビ、ガザミ等の種苗放流事業を併せて実施し、漁場環境の改善及び水産資源の保護、育成に取り組みました。貧酸素水塊の出現等漁場環境の変化や気象状況の変動など、漁獲量の安定化を図るためには困難な要因もありますが、今後も継続的に水産振興のための取組みを行っていきます。				

〔豊かな海づくり推進事業費〕	3,364,210円			
・水産環境改善事業費	1,940,210円			
E Mを活用した水質環境浄化実証事業を四日市市漁協へ委託実施しました。磯津漁港周辺4箇所へ活性液100t、団子10,000個、ぼかし642kgを投入しました。				
・ヨシエビ等種苗放流事業費補助金	1,093,000円		(その他特財	900,000円)
・抱卵ガザミ放流事業費補助金	331,000円		(その他特財	300,000円)
四日市地域漁協連絡協議会が実施する種苗放流事業へ助成しました。				
〔漁業経営近代化資金利子補給金〕	9,813円			
〔楠町漁業振興事業費補助金〕	200,000円			
楠町漁協が実施する生産振興、消費拡大事業等へ助成しました。				
〔負担金〕	110,000円			
・四日市地域漁業協同組合連絡協議会	20,000円			
・三重県水産物消費拡大促進協議会	90,000円			

## 目3 漁港管理費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,546,000円	1,122,250円	72.6%	0円	423,750円

〔漁港管理経費（磯津・楠漁港）〕	950,250円	(その他特財	871,700円)
〔負担金〕三重県水産基盤整備協会	172,000円		

## 目4 漁港建設費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
121,634,000円	121,611,756円	100.0%	0円	22,244円

〔一般職給〕 1人	6,337,756円	(県支出金	2,754,984円)
〔磯津漁港海岸保全事業費〕	40,167,750円	(県支出金	34,142,588円)
		(市債	5,600,000円)
磯津地区の海岸堤防が老朽化等により機能が低下してきていることから、地震時の津波や地盤の液状化対策のため、堤防の改良を行いました。			
〔地域水産物供給基盤整備事業費〕	71,595,300円	(県支出金	57,276,240円)
		(市債	13,500,000円)
磯津漁港内の静穏度の確保と漂砂の堆積防止を図るため、南防波堤の延長工事を行いました。			
〔その他事務費〕	3,510,950円	(県支出金	1,526,188円)